

当たり前のように過ごしていた日常。本館の展示は、それが災害によって一変し奪い去られていくことを語りかけます。

—— 日常を見つめなおす ——

東日本大震災・原子力災害伝承館へぜひお越しください。

複合災害の話を聞く、共感する

語り部講話



複合災害を経験した方々の生の声を聞き、当時の追体験ができます。

複合災害を考える、教訓を得る

研修プログラム



来館団体のニーズを踏まえ、震災・防災に関する様々な研修を提供します。(オプション)

東日本大震災・原子力災害伝承館マップ



【双葉駅】からタクシーで約6分(約2.7km)

仙台から	常磐自動車道経由一般道	約90分	常磐双葉IC	一般道約7.5km	伝承館
仙台空港	常磐線特急ひたち	約80分	双葉駅	一般道約2.7km	
東京から	常磐自動車道経由一般道	約240分	常磐双葉IC	一般道約7.5km	伝承館
東京都内	常磐線特急ひたち	約190分	双葉駅	一般道約2.7km	

東日本大震災・原子力災害伝承館 利用案内

福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39

- 開館時間** 9:00～17:00
- 休館日** 火曜日・年末年始(12/29～1/3)
- 入館料** 大人600円 小中高300円  
大人団体(20名以上)480円 小中高団体(20名以上)240円
- 研修室** 最大120名収容

※入館料は1名あたりの金額です。※教育活動での減免制度あり。

お問合せ先  
公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構  
東日本大震災・原子力災害伝承館



電話0240-23-4402 FAX0240-23-4403  
電子メール archive@fipo.or.jp  
HP <https://www.fipo.or.jp/lore/>

福島県 Fukushima

東日本大震災・原子力災害 伝承館

The Great East Japan Earthquake and Nuclear Disaster Memorial Museum

みらいへの教訓

あの日からの経験



津波被災道路標識・基礎ごと流されたポスト



東京電力福島第一原子力発電所模型

未曾有の複合災害を経験し、復興への途を歩んできた福島。記録と記憶を防災・減災の教訓として未来へつないでゆく。

複合災害を知る、学ぶ

展示コーナー



震災前から震災当時、現在を通じて、複合災害がもたらしたのものや、その後の復興の過程を学ぶことができます。

被災地へ行く、体感する

フィールドワーク



津波や原子力災害で被災した施設や復興の状況を見て、学ぶためのツアーを行います。(オプション)





## プロローグ

地震・津波・原子力事故発生当時の映像とアニメーションを効果的に組み合わせた映像により、基本理念をもとにした「災害の自分事化」、「福島の実験と教訓の未来への継承」の2つのメッセージを来館者へ伝え、震災のこと、事故のこと、復興のこと、これからの未来のことについて考える入り口としての役割を担います。



事故前の暮らし  
(双葉町原子力広報塔など)

## 1. 災害の始まり

平穏な暮らしを一変させた地震と津波、それに続く原子力発電所事故。複合災害の発生を受け、人々はどのように行動したのか。震災前、震災当時、震災直後の状況を時系列でたどり、さまざまな資料・証言・事故調査の記録から、複合災害の始まりを克明に描いていきます。



東日本大震災・原子力災害関連年表



地震と津波の記録(映像)



消防隊員の防火衣・学校に残された学用品

平穏な日常が複合災害によりどのように変わってしまったのか、県民の想いを、証言と資料を組み合わせる発信します。特に、広域的・長期的な避難、あらゆる分野への風評など、原子力災害特有の事象を中心に伝えます。

## 3. 県民の想い



川内村に避難した富岡町民が  
黒板に残したお礼のメッセージ



除染(防護服・フレキシブルコンテナバッグ)

## 4. 長期化する原子力災害の影響

除染(放射性物質の除去)、風評の払拭、長期避難への対応、健康に関する取り組みなど、原子力災害による長期的で困難な課題に、福島県の人々がどのように対応してきたのか、タッチパネル解説や資料を通して伝えます。



甲状腺検査に使用したエコー機



米の全量全袋検査機模型

## 2. 原子力発電所事故直後の対応

錯綜する情報、転々とする避難生活。これまで経験したことのない原子力発電所事故発生直後の状況やその特殊性を、避難などの様子に焦点を当て、さまざまな資料や証言などをもとに振り返ります。



海外からの励ましのメッセージ



1週間の事故の実像(映像)

## 5. 復興への挑戦



福島イノベーション・コースト構想の取り組み紹介(福島県産ロボット)

逆境を乗り越え、復興に挑戦する福島県の姿を紹介します。廃炉作業の進捗、福島イノベーション・コースト構想などの取り組みから、県民が困難に立ち向かい、復興へ向け力強くチャレンジする姿を発信します。

複合災害、復興について  
一緒に考えてみませんか？

